

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		現在、保育所等訪問支援が必要な児童のご利用はございませんが、ご利用の際は教員教材が適切であるかについて職員間で協議してまいります。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、訪問支援員が1人以上配置と定められております。COMPASSでは資格や経験等を考慮して訪問支援員を配置しております。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		職員が意見を話し合える場を設けてPDCAに取り組んでまいります。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者様と面談を通して意向を把握しております。今後多くのご意見を運営に反映できるよう努めてまいります。		
	5	従業者の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		職員が意見を述べやすい環境づくりに取り組んでまいります。今後も意見共有の場の定例化などを進め、より円滑な業務改善に努めてまいります。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内の研修に参加し、職員の資質向上に努めてまいります。今後も研修参加の調整や情報共有の工夫を進め、より学びの機会を充実させてまいります。		
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		児童の特性や課題を把握するために、日々の記録や観察を通してアセスメントをおこなっています。今後も共有方法の明確化を進め、より正確で一貫した支援計画に努めてまいります。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		保護者様と面談を通して意向を把握しております。今後多くのご意見を運営に反映できるよう努めてまいります。		
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		支援計画作成時には訪問先施設の担当者様とも連携し、必要な支援内容を計画に盛り込むよう努めてまいります。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援が行えるよう取り組み、より統一性のある支援に努めてまいります。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		児童の適応行動の把握に際しては、標準化されたツールや行動観察を組み合わせて活用するよう努めてまいります。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		現在、保育所等訪問支援が必要な児童のご利用はございませんが、計画作成の際は具体的な内容を記載してまいります。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援が行えるよう取り組み、より統一性のある支援に努めてまいります。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		支援開始前に打ち合わせをおこない、支援内容を効率的に打ち合わせ方を検討し、連携を強化してまいります。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援終了後は振り返りや気付いた点の共有をおこない、共有の仕組みを見直し、よりよい支援につなげてまいります。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問支援においては、訪問先の意向や支援方法を尊重しながら変換をおこない、今後は事前連絡の工夫を進め、より円滑な連携を図ってまいります。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎回の支援について記録を徹底し、支援の検証に役立てるとともに、記録の統一化を図り、より適切な改善につなげてまいります。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		保護者様や訪問先の意向の確認およびモニタリングをおこない、見直しの時期を明確にし、支援の質の向上に努めてまいります。		
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		関係機関との会議には、児童の状況をよく理解している職員が参加し、情報共有をおこなっております。事前準備をより丁寧に進め、連携の質の向上に努めてまいります。	
21		地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		地域の医療・福祉・教育機関と連携して支援体制を整えていき、今後も共有方法を統一し、より円滑な連携を図ってまいります。		
22		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就学先との情報共有をおこない、支援内容の相互理解に努めるとともに、オンラインツールの活用なども検討し、よりスムーズな連絡体制の整備に努めてまいります。		
23		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		専門家の助言や社内研修、外部研修を活用し職員の見聞向上に努め、また今後は研修方法の選択肢を増やし、より参加しやすい環境づくりを進めてまいります。		
24		(自立支援)協議会や子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		地域の児童・子育て会議等へ積極的に参加し、今後も情報共有の仕組みを整え、地域との協働をさらに深めてまいります。		
25		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		日頃から保護者様と児童の状況を共有し、課題への理解を深めるよう努めるとともに、相談の機会を確保し、より丁寧な情報共有をおこなってまいります。		
26		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ご家庭での対応について保護者様へ助言を行い、必要に応じて家族支援の研修にも取り組んでまいります。		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		運営規程や利用者負担等について丁寧な説明を心がけ、資料の工夫や説明の順序を見直し、より分かりやすい案内に努めてまいります。		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問先には事業の趣旨や目的について丁寧に説明し、内容の統一を図り、より円滑な連携に努めてまいります。		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		支援計画作成時には、児童や保護者様の意向を確認し、最善の利益を踏まえた検討をおこなってまいります。また、調整方法を工夫し、より丁寧に意向を反映できるよう取り組んでまいります。		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		支援計画の説明をおこない、保護者様の同意を得るよう努め、資料の簡略化や説明方法を工夫し、より理解しやすい説明を心がけてまいります。		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか。	2		保護者様からの子育ての悩みに対応し、必要な助言や支援に努めるとともに、情報共有の仕組みを整え、より迅速的確な支援につなげてまいります。		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		感染症流行の影響もあり、保護者様同士の交流の場を十分に設けられていない事が課題です。少人数での交流会やオンラインの活用など、参加しやすい形での機会づくりを進めてまいります。	感染症の影響により、対面での交流できる機会が十分に確保できていないことが課題となっています。今後は感染症対策に配慮しながら、少人数での交流機会など、参加しやすい形での取り組みを検討していく必要があります。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		相談があった際に円滑に対応できるよう、職員間で情報を共有し体制づくりに進め、より迅速に対応できるよう取り組んでまいります。		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		活動内容や連絡事項を定期的に発信し、必要な情報を分かりやすく伝えるよう努めるとともに、複数の媒体を活用し、より確実に情報が届くよう工夫してまいります。		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の管理には細心の注意を払い、書類の扱いや保管方法を徹底しており、鍵付き書庫などを用い安全な運用を継続してまいります。		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		訪問時に得られた情報を関係者に丁寧に伝えるよう努めております。情報のまとめ方を統一し、より分かりやすく共有できるよう改善に努めてまいります。		
	訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問支援に加え相談にも対応できるよう準備を整え、今後も担当間の連携を強化し、より柔軟に支援できる体制の整備に努めてまいります。	
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問後には関係者と話し合う機会を設け、支援内容を共有するよう努めるとともに、オンラインも活用し、より参加しやすい仕組みづくりに努めてまいります。		
39		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		訪問後にご家庭とも支援内容を確認し理解を深めていただけるよう取り組み、より丁寧な説明につなげてまいります。		
40		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の管理には細心の注意を払い、書類の扱いや保管方法を徹底しており、鍵付き書庫などを用い安全な運用を継続してまいります。		
41		訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先からの相談にも可能な限り対応し、信頼関係の構築に努めるとともに、職員間の連携を深め、より的確に助言できる体制の整備に努めてまいります。		
非常時等の対応		42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		事故防止や緊急時の対応について必要なマニュアルを整備し、職員への周知をおこなうとともに、職員がより把握しやすい体制づくりに努めてまいります。	
		43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全に関わる研修や訓練を定期的に実施し、支援中のリスクを最小限にする取り組みをおこなうとともに、振り返りの機会を設け、より確実な安全計画の整備に努めてまいります。	
	44	ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けた対策を検討するとともに、迅速に改善につなげられる環境づくりに努めているか。	2		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けた対策を検討するとともに、迅速に改善につなげられる環境づくりに努めてまいります。		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止に関する知識を深めるために研修に参加し、適切な対応ができるよう努めてまいります。		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		現在、保育所等訪問支援が必要な児童のご利用はございませんが、身体拘束は原則としておこないません。やむを得ず必要となる場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の同意を得たうえで、支援計画に記載対応してまいります。		

